

寄贈図書リスト

- 第30回日本アマチュア天文研究発表大会 神奈川大会集録
 高橋典嗣 他 編集, A 4判, 134p, 無料, 神奈川大会
 実行委員会, 研究資料
- 天体と軌道の力学
 木下 宙著, A 5判, 259p, 4,600 円, 東京大学
 出版会, 専門書
- プラネタリウムへようこそ
 青木 満著, 四六判, 256p, 1,800 円, 地人書館,
 読み物

- 五次元宇宙の存在
 與那嶺正秀著, 四六判, 126p, 1,000 円, 文芸社,
 読み物
- 岡山のスターウォッチング
 前原英夫監修, B 5判, 148p, 1,714 円, 山陽新
 聞社, 読み物
- 地上に星空を —プラネタリウムの歴史と技術—
 伊東昌市著, 四六判, 201p, 1,500 円, 裳華房,
 読み物

月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切, 翌月号発行の
 「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりま
 すので, 締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。
 e-mail で gjjimu@tenmon.or.jp 宛,
 必ず Fax: 0422-31-5487 へも原稿をお送り下さい。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目にしたがってご投稿下
 さい。結果は必ずお知らせください。

- 募集人員 (ポスト・人数など),
- (1) 所属部門・
所属講座, (2) 勤務地,
- 専門分野,
- 職務内容・担
当科目,
- (1) 着任時期, (2) 任期,
- 応募資格,
- 提出書類,
- 応募締切・受付期間,
- (1) 提出先,
(2) 問合せ先,
- 応募上の注意,
- その他 (待遇な
ど)

名古屋大学大学院理学研究科 素粒子宇宙物理学専攻 教官

- 助手 1 名
- 天体物理学研究室
- ミリ波・サブミリ波による星間分子雲と星形成過程
の観測的研究を行う。特に, チリ共和国ラス・カンパ
ナス天文台に設置した「なんてん」電波望遠鏡に関する
観測研究 (チリ現地における研究を含む) と機器開発
に積極的に取り組める方。
- (1) 1999 年 4 月 1 日
- 履歴書, 研究歴, 研究業績の概要 (2,000 字以内),

業績リスト, 研究計画 (2,000 字以内), 主要論文別刷,
 推薦書または応募者について照会可能な 2 名の氏名と
 連絡先。

8. 1998 年 10 月 30 日(金) (必着)

9. (1) 〒464-8602 名古屋市千種区不老町
 名古屋大学大学院理学研究科
 物理学教室主任 松浦民房

(2) 同教室内

天体物理学研究室 福井康雄

TEL: 052-789-2837

FAX: 052-782-3951

10. 書類は A 4 用紙を使用し, 封筒に「助手応募書類在
 中」と朱書すること。

研究会・集会案内

国立天文台 (三鷹キャンパス)

一般公開のお知らせ

国立天文台 (三鷹) では, 一般の方々への施設の公開
 と天文学の普及を目的に一般公開を行います。子どもか
 ら大人まで楽しく分かり易く天文学の最先端に触れるこ
 とができるイベントを盛沢山用意しております。お気軽
 にお越し下さいますよう, ご案内申し上げます。

<メインテーマ> 「宇宙の波をとらえる」

開催日時: 1998 年 10 月 24 日(土)

13 時 00 分 ~ 19 時 00 分

開催場所: 〒181-8588 三鷹市大沢 2 丁目 21 番地 1 号

文部省 国立天文台

東京大学理学部天文学教育研究センター

〈公開施設と内容〉

◎ 国立天文台（三鷹地区）の主要な観測施設、実験施設などの公開および展示陳列

◎ 講演会（講演者：藤本真克、柴田一成）

◎ 天文相談コーナー

◎ スタンプラリー

◎ 天体観望会

〔講演会〕

時間 14時～16時30分

会場 国立天文台 解析研究棟大セミナー室

司会 渡部潤一（国立天文台天文情報公開センター
広報普及室長）

講演

1. 「重力波を求めて」 藤本真克（国立天文台）
2. 「天体爆発現象と衝撃波」 柴田一成（国立天文台）

〔天体観望会〕

口径 50 cm 望遠鏡にて昼間はベガ、夕方は月、暗くなってから木星を観望できます。また、グラウンドにて数社の望遠鏡メーカー、販売店が設置する各種望遠鏡や双眼鏡でいろいろな天体を観望できます。なお、観望できるのは晴天時に限ります。

〈交通機関〉

1. JR 中央線・武蔵境駅南口から狛江営業所または狛江駅行きバスで（15分）天文台前バス停留所下車。
2. 京王線・調布駅北口から武蔵境駅南口行きまたは武蔵小金井駅行きバスで（15分）天文台前バス停留所下車。
3. 上記の他に JR 中央線・三鷹駅及び武蔵小金井駅、小田急線・狛江駅からも天文台前バス停留所を通るバスがあります。

● 注意事項 ●

自動車・バイクでの来場はお断りします。

天文台構内及び周辺には国立天文台一般公開の為の駐車場は用意してありません。

自転車の駐輪場は設けられています。

小学校低学年の参観は、保護者同伴をお願いします。

構内には軽飲食の為の食堂があります。

夜間観望は防寒対策をしてご来場下さい。

〈主催〉国立天文台、東京大学理学部天文学教育研究センター

〈共催〉総合研究大学院大学

〈後援〉日本天文学会、天文学振興財団

★問い合わせ先：国立天文台天文情報公開センター
広報普及室
電話：0422-34-3688
FAX：0422-34-3810

★ホームページ：http://www.nao.ac.jp/open-day/

第 13 回「大学と科学」公開シンポジウム
「生きている地球の新しい見方」

—地球・生命・環境の共進化—

このシンポジウムはわが国の大学等の研究者によって達成された最新の独創的かつ先端的な研究成果を、学界だけでなく、広く一般の方々に公開・発表し、理解していただくことを目的としております。

多数のご参加をお待ちしております。

日時：平成 10 年 11 月 21 日（土）～ 22 日（日）

場所：東京/朝日ホール

参加費：無料

主催：第 13 回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会

後援：文部省

お申し込み・お問い合わせ先：『生きている地球』事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-16-7

ピュア虎ノ門 3 F (株)アドスリー内

TEL: 03-3459-0006 FAX: 03-3459-6894

E-mail: info@adthree.com

URL: http://www.adthree.com

共同利用・共同研究

平成 11 年前期（1～6 月）

国立天文台岡山天体物理観測所の共同利用観測の公募

以下のとおり公募いたします。詳細は観測所へお問い合わせください。なお、観測所ホームページ（共同利用のページ）も参照してください。

1. 共同利用機器：188 cm 望遠鏡，91 cm 望遠鏡
2. 利用期間：平成 11 年 1 月～6 月
3. 申込資格：国・公・私立大学及び 国・公立研究所等の研究者、又はこれに準ずる者
4. 申込方法：所定の観測申込書により 2 部提出
5. 申込締切：平成 10 年 10 月 1 日（木）必着
6. 提出先：〒719-0232 岡山県浅口郡鴨方町本庄
国立天文台岡山天体物理観測所 共同利用係
封筒に「岡山観測申込書在中」と朱書のこと
7. 問合せ先：〒719-0232 岡山県浅口郡鴨方町本庄
国立天文台岡山天体物理観測所
前原英夫
電話：08654-4-2155
FAX：08654-4-2360
ホームページ http://www.cc.nao.ac.jp/oa/

会務案内

1998年度日本天文学会林忠四郎賞受賞候補者
および欧文報告論文賞受賞候補論文推薦の
お願い

1998年8月20日
社団法人 日本天文学会

締切り日に注意!!

本年度からスケジュールを1ヶ月繰り上げるこ
とになりました。

標記の2つの賞について、受賞候補者(論文)の推薦
をお願いします。両賞の由来と内規については、本誌
1996年11月号(会務案内, p. 524), およびそこに引用
した記事を見てください。

これらの賞を権威あるものに育ていくのに最も大切な
ことは、どれだけ立派な研究に対して賞が授けられてい
くかということです。関連分野の学識経験者、および天
文学会会員諸氏からのご推薦をお願いします。

締切は両賞共1998年11月20日(金)。下に述べるそれ
ぞれの要領にしたがって記入した推薦書を、

〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内 日本天文学会宛

に郵送してください。なお、封筒には「林忠四郎賞候補
推薦書」または「論文賞候補推薦書」と表記してくださ
い。とくに返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選
考後に破棄します。授賞式は、両賞共、本会年会の通常
総会(1999年3月26日, 京都大学)にて行います。

日本天文学会林忠四郎賞(第3回)推薦要領

この賞は、林忠四郎博士が1995年11月に第11回京
都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨
励するため」として同博士が日本天文学会に寄付された
金額を基金にして設定されたものです。第1回(1996年
度)は「宇宙背景放射ゆらぎの理論」の研究業績に対
して小玉英雄・佐々木節の両氏(連名)に、第2回(1997
年度)は「重力多体問題シミュレーションによる恒星系
力学の研究」の研究業績に対して牧野淳一郎氏に贈られ
ました。

分野等: 広い意味での天文学(天体物理学, 宇宙物理学,
他の関連テーマも含む)における独創的かつ分野に
寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

授賞件数: 原則として各年に1件。

賞状等: 本賞として賞状, 副賞として賞牌(メダル)お
よび賞金(20万円)。

推薦書の形式: 表題は「1998年度林忠四郎賞候補者推薦
書」としてください。前年度と同じ推薦をなさる場合
も、あらためて推薦書を提出してください。A4サイ
ズ用の用紙に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補者(被推薦者, 連名授賞可)について: 氏名
(ふりがな), 生年または大学卒業年, 現職, 連絡先
(電話, faxも)
- 2) 授賞対象とする研究の表題
- 3) 推薦者について: 氏名(ふりがな), 現職, 連絡先
(電話, faxも), 被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨(300字以内)
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として, 推薦に関連して最も重要な論文の
コピー(複数可)

日本天文学会欧文報告論文賞(第3回) 推薦要領

この賞は、良い論文が Publications of the Astronomical
Society of Japan (PASJ) に投稿・出版されるのを奨励す
るために設定したものです。第1回(1996年度)は
"Discovery of a Peculiar SU UMa-Type Dwarf Nova ER Ursae
Majoris", by Taichi KATO and Chatief KUNJAYA, PASJ,
vol. 47 (1995), pp. 163-168 の論文に対して加藤太一・カチ
ーフ, クンジャヤの両氏(連名)に、第2回(1997年度)
は "Distribution and Dynamics of Molecular Gas in the Galaxy
M51. III. Kinematics of Molecular Gas", by Nario KUNO and
Naomasa NAKAI, PASJ, vol. 49 (1997), pp. 279-306 の論文
に対して久野成夫・中井直正の両氏(連名)に贈られま
した。なお、本賞の選考委員会は、林忠四郎賞選考委員
会が兼ねることになっています。

対象論文等: 原則として過去3年以内に Publications of
the Astronomical Society of Japan に出版された論文のう
ち、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた
論文の著者(共著の場合はすべての各共著者)に授与
する。

授賞件数等: 原則として1年に2件以内。

賞状を授与する。

推薦書の形式: 表題は「1998年度欧文報告論文賞候補推
薦書」としてください。A4サイズの用紙に、次の順
序で横書きにしてください。

- 1) 候補論文について: 論文題目, 著者名, 所属, 出版
された巻, ページ, 発行年

- 2) 論文著者について：氏名（ふりがな）、連絡先（電話、fax も）
3～7) 林忠四郎賞推薦の場合と同じ

IAU 京都総会記念基金による 国外からの国際集會参加への旅費補助の募集

天文学会では、IAU 京都総会の開催に伴う剰余金を基に、国内で開催される天文学に関する国際研究集會への国外からの参加を奨励するために、「IAU 京都総会記念基金」を創設いたしました。本基金は、国際集會1件あたり概ね百万円を限度として、国外参加者の旅費補助に限り交付するものです。今回、平成11年度（平成11年1月から12月）に開催される国際研究集會に対し、同基金申請の公募を行いますので、下記の要領にしたがって、ふるってご応募ください。（本号中綴じの「IAU 京都総会記念基金内規」参照）

記

申請者資格：国際研究集會の組織委員長またはこれに準ずる者

申請先：天文学会理事長

申請書提出先：

181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内 日本天文学会

応募締切日：当該研究集會開催の三ヶ月前

交付金の使途：当該研究集會に参加する国外の研究者の参加旅費の補助

交付金の額：1集會あたり約百万円を上限とする。

旅費補助の算定根拠：研究者1名あたり、日本までの往復航空運賃（エコノミークラス）程度。

申請に必要な書類：

- 1) 当該研究集會の概要（科学目的、開催場所・期間、組織など）およびプログラム
- 2) 当該研究集會の開催予算の概要（特に国内外参加者への旅費補助の予定額およびその資金の出所）
- 3) 本基金による旅費補助の候補者、補助金額、推薦理由のリスト

報告書の提出：当該研究集會開催後一ヶ月以内に、実際に配分された旅費補助の内訳を、集會自体の簡単な報告書とともに報告すること。

（平成10年度 IAU 京都総会記念基金
選考委員会委員長 福島登志夫）

定款内規・付則の追加及び変更を致しました。

1. 変更箇所は「会費に関する細則」の付則（平成10年7月削除）、及び「研究奨励賞内規」の2. ロ（平成10年3月変更）
2. 追加内規は「国際会議共同主催に関する内規」（平成8年10月制定）と「IAU 京都総会記念基金内規」（平成10年7月制定）
新定款を本号の中綴じに入れました。

年会案内

1999年春季年会は京都大学で3月25日(木)～27日(土)まで行う予定です。

1999年秋季年会は九州大学（福岡）で10月7日(木)～9日(土)までの予定です。

2000年春季年会は東京大学（東京）、2000年秋季年会はぐんま天文台（群馬）の予定。

編集委員	末松芳法（編集長）、上野宗孝、大橋正健、小谷太郎、辻本拓司、野口邦男、平野尚美、宮坂正大
平成10年9月20日	発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12 啓文堂 松本印刷
定価 700円（本体 667円）	発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
TEL: 0422-31-1359（事務室）	／ 0422-31-5488（月報・欧文編集） FAX: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のホームページ	http://www.tenmon.or.jp 月報編集 e-mail: gpjimu@tenmon.or.jp